



# 普通科通信

H24年  
3月号



今年度のフロンティア事業のテーマは「福高スクラムⅡ」周囲の皆様の協力を得てさらに前進します。

## 学力向上の基盤として、読解力・表現力の向上を！

～ 新聞活用セミナー、志望理由書講演会 ～



日々の演習 提出風景

「学力」と言えば、テストで良い点が取れる力、という印象を持っている人も多いと思います。もちろんそういった面もありますが、本校では、学力をさらに幅広い人間育成の観点で考えています。一人一人が自分の良さを見つけ伸ばすこと、社会人としての礼儀を大切にすること、コミュニケーション力の育成等を通して、「個を活かし、公に生きる」人材育成を目指し、様々な取組を展開しています。

学力を伸ばす第一歩は、基本的な生活習慣と学習習慣を定着させることです。本校は「日本一挨拶のできる学校にしよう。」という坂根校長先生の言葉を教員も生徒も大切にし、授業の始まりはもちろん、廊下ですれ違う時にも「こんにちは。」「おは

ようございます。」という爽やかな声が響いています。また、1年次は教科ごとに曜日を決め、毎日学習課題が出されます。これを「日々の演習」（日々演：ひびえん）と呼び、本校では十数年間続けてきた取組であり、日々演を通して学習習慣と基礎学力が付き、2年次以降の学力伸長にとっても効果的だったという生徒もたくさんいます。また、2年次や3年次では、今年度から課題の提出期限のみを決め、自分で学習計画を立て「自ら学ぶ」姿勢を重視した取組を始めています。部活動や習い事で忙しい日等は自分のペースで学習に取り組むことができ、また提出まで時間があるのでじっくり考える力を培うこともでき、生徒にもとても好評です。

学習を進めていく上で、教科の勉強を支える基盤として、文章の意図を正しく、深く読みとる力（読解力）、自分の考えを筋道立てて説明する力（表現力）が重要です。こうした力を磨く取組の一つとして、本校では朝日新聞社と提携し「新聞活用セミナー」を実施しています。

朝日新聞社から年に2回講師を招き、新聞に慣れ親しむことから始め、天声人語の書き写し、ディベートや小論文の書き方、新聞投稿等に取り組んでいます。2月17日には、1年を対象に、24時間空いているコンビニの是非について考え、意見を述べる機会を持ちました。



新聞活用セミナー

東日本大震災による電力不足の中で24時間お店をあけることは本当に必要なのか、という意見と、24時間空いていることによって夜遅くまで仕事をされている方にとって便利であり、夜暗い道を歩く女性にとっての逃げ場にもなっているため防犯面でも必要、と様々な意見が出され、正解のな



志望理由書講演会



い問題に対して、相手の立場を理解しながら自分の考えを主張することの大切さや難しさを、ディベートを通して学ぶことができました。

第2学年では2月16日に志望理由書講演会を行い、生徒が実際に書いた志望理由書を添削された先生を講師としてお招きし、志望理由書の書き方を学ぶことを通して、自分の進路について真剣に考える機会となりました。

## 取組紹介 미래の窓

福高作文 ～新聞活用セミナー～

### 1年3組 中川 知美さん（福知山市立夜久野中学校出身）

普段パラパラとしか読んでいない新聞も細かいところまでしっかり読むと、日々の情報だけでなく、論文の書き方も学べることを知りました。ただ単に、その日のニュースを読むだけでなく、新聞をしっかりと読むことによって、漢字を書く能力や論文の読解力、表現力が少しずつついて、それが入試にもつながっていくのはすごいことだと思いました。日々の積み重ねは、やっぱり大切だとあらためて思いました。同じ新聞でも、日々ニュースは変わっていきます。私はいつもテレビ欄やほんの1、2面程度しか読んでいません。せつかくある新聞をもっとうまく使って、少しずつでも新聞の中のいろんな面を見ていこうとし、自分に足りない読解力や、特に表現力を身につけていきたいと思いました。



### 1年5組 奈良井 梓さん（福知山市立大江中学校出身）

今回の新聞活用セミナーは、小論文の書き方ということで、新聞の投書欄の意見をもとに自分の意見をまとめる難しさを実感しました。自分の感情を軸とする作文と違い、第三者の客観的な視点を軸とする小論文は、書き方を

教わっても一苦労でした。まずは与えられた文章などを最後まで読んでから構成を考え、具体例を交え、時に反対の立場に立って考えてみるという作業はすぐにできるものではないので、この機会があったことは本当に大きいと思います。また、小論文では読解力だけでなく、より豊かな表現をするための語彙力も重要です。限られた字数でいかに述べたいことを簡潔にまとめるかが、実際の試験で明暗を分けるのだと新聞活用セミナーを通して感じました。今後、2年生で行う小論文添削や今までの講座で教えていただいたことをうまく活用し、必要になったときに対応できる力をつけようと考えています。

